

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月31日

学校名 福井市清水中学校

校長氏名 田中 佳之

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①生徒会でSDGsの啓発に取組みます。
- ②水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境教育・環境学習

- ・生徒会でSDGsやリサイクルについての啓発に取組みます。
- また、その内容を発表や掲示物などで紹介します。
- ・花壇やプランターの管理など、校内の緑化に努めます。
- ・環境保全活動として、地域の清掃活動、資源回収に参加します。

②省エネルギー・省資源

- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。

③ごみ減量・リサイクル

- ・学校内の古紙回収に努めます。
- ・ゴミの分別を徹底します。
- ・ペットボトルキャップやアルミ缶のリサイクルに取組みます。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

- ①では、リサイクルのシステムを学ぶことによって、不用になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高める。また地域の幅広い年代の人と接し、互いに協力する力を身につける。（相互性、連携性）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 清水中学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①生徒会でSDGsの啓発に取り組みます。 ②水や電気などの資源を大切に使います。 ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ①環境教育・環境学習 ・生徒会の環境委員ではSDGsとは何か、自分たちは自然や地球にどのようなことができるのかを学習しました。そしてクイズで全校生徒に啓発したり、ボランティアを募り地域の清掃をしたりしました。 ・花壇やプランターの管理をして、校内の緑化に努めました。施設技師の方と協力し、プランターに花の苗植えをし、水やりの当番を決めて花を育てました。 ・地域の活性化のための「清水活性化プロジェクト」として、公民館や地域の方と協力してフラワーロード作りをして、緑化運動や環境美化に取り組みました。  地域の清掃  プランターの水やり当番  フラワーロード作り ②省エネルギー・省資源 ・手洗い場や廊下に節水・節電のポスターを掲示し呼びかけました。 ・環境委員が、使用していない教室や廊下、トイレなどの電気が消えているかを確認しました。 ・統計委員が毎月、水や電気が学校でどれだけ使われたのかをグラフで表したポスターを作って掲示しました。  水道代・電気代グラフ ③ごみ減量・リサイクル ・清水特別支援学校でリサイクル活動の一つとして取り組んでいるペットボトル集めに全校で協力し、集めたものを渡しました。また、特別支援学校からはペットボトルキャップをもらいました。そして、校内でも積極的にキャップの回収を呼びかけ、全校生徒にキャップをもってきてもらうためのアイデアを出し合い、たくさんのキャップ	

プを集めることができました。環境委員会の委員長が回収業者に持って行き、世界の子どもたちへのワクチンにかえる活動を行いました。

- ・各学級にリサイクルボックスを設置して不要な古紙の回収に努め、環境委員がまとめてリサイクルに出しました。
- ・給食のパンが入っているプラスチック袋を週1回集め、小さく丸めてごみの体積を減らす活動をしました。



キャップ回収



特別支援学校との交流



プラごみ集め



古紙回収

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①では、リサイクルのシステムを学ぶことによって、不用になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高める。また感染症予防にも気を付けながら、地域の人と共に環境保全に努める。（相互性、連携性）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ①SDGsとはどういうもので自分たちとどう関係しているかといったことを自分たちで調べてクイズを作ることによって、より興味を持ち自分たちの身近な課題であると考えられるようになりました。また今年は新しい企画として、環境委員会でボランティアを募り、地域の清掃活動に取り組みました。
- ②節電を意識することで、特別教室等で授業を受けるため教室を空ける際に、電気を消し忘れる学級が減ってきています。
- ③清水特別支援学校との資源交換や環境委員会による呼びかけにより、廃棄物を資源として再利用をすることへの理解が生徒に深まっています。そのため、積極的に集めて持ってくる事ができています。古紙回収ボックスも定着し、生徒の資源を大切にしようとする姿勢も高まりました。

【改善点】

- ・SDGsという言葉が世間や生徒の間にも浸透してきているので、さらに深い内容の活動ができるようアイデアを出していきたい。
- ・保護者や地域の方に学校での取り組みを広めて環境に対する意識を高めていきたい。
- ・毎年行っている「地区クリーン作戦」が今年はコロナ感染予防でできませんでした。そこで環境委員会を中心にボランティアの生徒と一緒に地域の清掃に取り組みました。広報が遅くなってしまったので、早く募集したくさんのボランティアに参加してもらえる工夫をしていきたい。コロナが収束した際にはまた地域と協力して清掃活動や草取りを行いたい。